院いで山口縣知事「魔してゐるが、その具態斑として「弗防局、貝爾事仿局の八外局が壞「馊を作るのは能も緊要であり、之」的が後述に途を唱「歩として四縣組織のスタッフを示」統計局「山厨局」實歉局、東北後典「務を一抵して緊撃する首相の解你

蜜田内閣は、行政御機謀革の第一 局として連瓢員、親宜局・資源局 一られ實術に ある ので、之 等の【果泉市街」總式「新を総称する | 化しつ くあるが、内閣には直襲外・之等護婚職の事務産業まで手が

設置案次第に有力化

新の實績を擧げる

算を編成した

水防團の擴充訓練の徹底希望

今井田總監が陳述

思京流話】 平生支担は就任以来 叉部異動 たの運びに至らず十二日の閣議に

側では承認してゐるが、赤間野

内閣直屬の諸外局を

専掌する無任所相

のっ一方、内部修には手段を備-

局長の内務省人りに憑原な反射

决定に至らず

赤間氏の内務省入に反對空氣

十二日に持越さる

從四位動二等文部省實業學務局長

なってゐたが、内務省の都合管由

辭表提出

方長官の異動

河原次官が『事務取扱』を同

四南問題解決の

全會を開催

漸く問題解決の見透しつく

將氏は斯~目論

包

||下本府と軍が折衝中の計畫に基づいて具體案を樹立、咸南北、平南北等の緬目下本府と軍が折衝中の計畫に基づいて具體案を樹立、咸南北、平南北等の緬に拍車をかけるべく接到することになり、近日東京千住製統所長鹿野一等主計||側面的援助の方法を講じてゐたが、いよく〜南橋北羊の計畫に軍部も乘出し、

の十載に表づって見畳製を苛立、或菊化、平菊化等の師。する標準変配することになるの助することになり、近日東京千佳製統所長鹿野一等主計。台して打つて「鬼として総際策じてのたが、いよく、南棉北羊の計畫に軍部も頭出し、があるので、結局内部副郷を総称目足せよといる製図的決意に對して、軍部では非常に、関しては既に部内に租第の展員総称目足せよといる製図的決意に對して、軍部では非常に、関しては既に部内に租第の展員総称目

愈よ成案を得

龗融通利率中引下げ

観光中であつたが庶上此のほ

よ軍部も乗り出す

近日鹿野一等主計正が來鮮、具體案樹立

完成に拍車をかくべく援助

定例閣議

版田首相以下各職城出版(永野海 時三十分首相宮邸において開催、 東京電話】 九日の職談は午前十 |態相、永田報相旅行のため聴魔)||紫稚樹氏等が有力である||相、島田監相、小川昭相、頼母本||しては寒陽二朗、大野藤一郎、

ではないかと見られてゐる

り本府第一會議室で曾長令井田一二家備電より五萬八千藤園を支出 散闘した 日は首相官邸において午前十時よ

京することになった、なほ巫家器 であつた中川艦隊總督は、政府の【東京電話】六月下旬上京の豫定

い、資冬の大雪 山の艇宝は、一

一路つて来る人

一本府で委員會開催

ひ凝固にも顔を見せなかつたが

手を握ったまく感激してみたの

北出的 鐵道大號號 L 關係

客館の間めつくある音気を占領 | 直東八日間置] 西南軍は日下

資的折断に入る模様であるが、

吹つて軍事行動を緩和-

四扇縣附秦田 遊影

の欄にが、之は毎日4月17日です。上日午前 九時百月18日に版田首子へ、日を訪問、聖談の後閣職に別居している。上日午前 九時百月18日 に版田首とは、上日午前 九時百月18日 に版田首とは、上日午前

に相當重大性を有するので複め版

| 選続を験取し、リースロー補歩兵第七十五場籐町(各通)

新しきをたづねて、進むばか

|歴東八日同盟]||西南職合軍の湖||をそれり〜衝かんとしてゐる。

旬日を出ぬか

お兵大尉 長谷川良山 京第七十五聯隊中隊長 京第七十五聯隊中隊長 下五聯隊国域で確除中

のちゃ。……兄者人、西側房、どと、外の清きを知つてこゝへ來た

大長篇読切り

ま物! 哀れ命をかけまの湯本、情けの温

でもあるあれたと が、呼ばの心中が水・ 思は手能でも立かされる 態が大寒劇・モデルは 能でもあるあれかえ

越路篇

英 治 花

畵 作 1148) (148)

《兵第七十五聯隊國境守備

十といふ人生を越えて来た弟の四一たのむ』 血をそのまる過えて、

ら、二人から、おそりなしの程を必須にすくひ取らせてたまはるや

のむ、残水の小魚を、宏大無邊の

ハヘお取次をた

た一片の手能が、この修験をつくた。ももろん、西郷も自分のやつ

遺費が繋にあふれてゐた。

つたと思へば、欣ばしくてたまら

表表

場仰してゐた親

電点 である

気持をもつ

陸軍辭令[元日明]

と、これも夢かのやうに、弟の

から、與へられた。底生の名であつ かつた。

人々は、想識に闘伝の心を思くるのを見ると、この越後や隣国の 親鸞の下に、法院の日を送つてゐ目にもうらぞましい陸まじさで、 兄の盛綱は、そのまへに、光質 れてゐた。 今では、上そ - ふたりの名だ

を讃怒の上命針。扇

甸

題號

翻桃色の捕縄。質

條字出世物語



翻新柳櫻縣 飛切り面白い傑作小説版十篇に此の外「講談俱樂部」七月號には 計別場出でる外紙、高計 |探偵**女鬼**(天懸賞?ē)||正史|

●特別 演藝家記してラフラー 一時別 演奏 第二章 クラフラー 東い歌にいる日子なるでから、大照があったが歌で、なままなりの日子のの大流出まい。 東い歌にいる日子なるながある。 なままないとなった。 ないまないとなった。 ないまないという

いから、蕗の芽を増してきた。

尿城驛に着いたわが陸上選手

軍主職者、本が武、海軍職御用った地域の最近で派行為の中心に式場が設行られ、劉

・ に据えられた。大な間勘難、

を中心に式場が設行られ、別

・ に関えられた。大な間勘難。

一致が認証が監異、統裁のもとに、

現実に移り間一時旗飛行士は配の

びえをみせて明れの朝鮮同胞就に

總監以下多數列席す

【釜山から同一して、菊一

名の特鋭は、腓側の心脈に燃えて

大塚旅館に入つた

に除念のない脳時急行も間負けの

僅かな時も幅い熱心な練習よりを

古岡超特急

大邱、大田では五分停車、ソレア すつかり冠を強くした様である。 れいなソプラノを張りあげ、 この女子領も負けてはるず、き

一家持ちが大事です」と認る

大島主將は

湿し、九日午町六時復都した、こ

櫻丘と青葉校

二小學校を認可

放了生活をじつと、討えるやうな

大いに顔般ります、長距離には、

す、ビーコックは駄目だといふ。(京城へは既々お世語になりま

制覇の臍を固めて

れてきたのを、本人はのんきにも 山本質子でんが連絡船に財布を記

の合宿機割をするので芬園に帰蔵 村吐君は『アインランドで一ヶ月

の昼景を説明をするのも得意の能

もデッキへ出て見る。同僚に選外

は、ストップウォッチばかりを掲 を有する既には好而合です、今迄

知らずにゐて単掌が知らせてくれ

野犬られ巡ち地内の話題となる

男女軍合戰

國の大選手と練習してあるから、

硫安積んだ貨車が二

ダイヤ狂ふて福溪から特發

しかし去年も芬

製作無事的総合はブラットホームに促れて能得る人々を認識させた、一行は直ちに放園に於ける最後の宿舍た野雄生態が終めばブラットホームに促れて能得る人々を認識させた、一行は直ちに放園に於ける最後の宿舍た性の により、他の山本院のの暗緒には、『中島定勝解書、その中田野への人々と振動を交し、鬼話師の声解母、佛殿の大島母長駐鹿の日午後三時十分着の臨時列 4で服々しく入城した、別典がホームにはり込むや、選手選は元宗とくステップ 島報復興会第二、〇アドロ・赤輝田君氏南武と川郭され、艦歌書を加入て絶勢五十一名、ベルリンの郷都目復して北行する途中、九清報復興会第二、〇アドロ・赤輝田君氏南武と川郭され、艦歌書を加入て絶勢五十一名、ベルリンの郷都目復して北行する途中、九清年間の中では、「大明」という。 **- 正元氣で入城** 尿城驛頭溢る

牛島と歐亞は地續と 釜山第一步にこの雄々しさ

草駄天列車に溢る、元氣

りついて樽力旺盛『飯だ、飯だ』 の成れも見えす問題切ってゐる、 領山一嶼を占領した選手一行、船 ナナ、リンゴ、枇杷の泉に読書ぶ 何物が落石がない内に、 もらい。りを函載してゐるので、ピストン なしにしても組隆級の単駄天はか と力で、みんな必勝の概暦です

早くも米個の釣り上げを約引して 【仁川童品】五月以米島らぬ雨は

師は最近の天宝鰡を制に語る

ないので、これにしたのですが、 早いさうですね、あれに増給させ かたち「一つあとの」のぞみ々は 很能過では常用に入り得望の朝 待望の朝飯 設度部に陣取つてゐる女 口笛を吹くやら賑やか

子選手一同は、さすがにおとなり一西田、大江、安選のボール華ト歌

と自信のある所をはのめかし、脾し投げられないのでね々と跳狂射役、金篋長公主党帯が単投で信置が最重ない。それの中では、無でみによのも、事より左記三技の顕微感用を得たる大行のする見えてませてす。

に觀をかせめると、そのため通行一なほ優臣校の整地は大手座、建築 置京城府省護町二ノ由一番町ノ青葉公立部営品等、小學校(位

に適合した第二國民の遊成、積極 これ等の解析の結成時

三雄三属所有と戦明したが、連戦 して来た原五一五五號のトラック (るとトラックは京城橋北町一

何即死したる讷は京城隋山町二 九申與滅氏三男母義在(で)と例

京城地方 [今晩]景づて姓 模点のり、海上には霧かかり、仁川地方(今晩)景つて

ム盛大な披露式

同胞號

實用腕時計特價提 時の記念日特 時 計會置 供計

京 城

指は早く京城へ着きたがつて震度。祖中出身で、錦京城ツ子の中村清 中村君語る一

七人の姉妹

と極めて関かである

TAN TON

一 萬 拾 間 間

皮膚泌尿花柳病 醫學博士渡邊晋

京城黃金町入口 日本生帝医

二校の均散を道営局に裁可方を申

| 容する語である、通學顕城は優丘

校は今秋十一月一日であるが、

校は新草町一輩の品で東大門、南 ルンI型級で、一校百二十名を収

瀬山、慶洋各小學校に通學しこととなった

**隠では
鍛鉱収容しきれず、小學校 | 百坪、十四萬八千圓で新築、それ**

|京城府の皇重は、現在の||電十二萬||千圓、曹樂校は五千七

學童洪水緩和されん

げ『この足の下の大陸たるや戦地 「地震きなんだからね」

石」油谷職長の見事な親令で上陸

領に対版の設議を押し切つてル 朝六時半の最極丸で威勢よく朝

元点、オギサン朝長遊び壽光氏も

く、乾燥し切った空気にイラーへ はあがつて、たく室がどんより景 の夏の雨が來た、併し正年頃は雨 るた都的人にも待たれる遊み

登山・ジャペルメル 本式に訓練 少年團は純日

本所学の局の林魔社の踊鬼談に スカウト式少年訓練を純日本能少 ると、文部省では従来のボーイ、

けさはほんの少し『支那から低氣壓》 南鮮地方は いした明はなく、いで満州島と秋風韻

不明一ミリ▲雑花二ミ

體二千五百名の少難が躓きと結成

酒類、その他の地方でも約四十點。ら文部省の方針を取り入れて衝撃 製出す意向である

海(昭東方) 一般には強いによると、 がいことでは、 はいとでは、 はいとな、 はいとは、 はいと、 はいと、 はいと、 はいと、 はいと、 はいと、 はいと、 はいと、 はいと、 は

000 特越品

森永上

トラ ツの幼見を轢殺す

の丸タクシー即で正滅域の子供か「養石の外にも二十五歳位の青年の丸タクシー即で正滅域の子供か」 義石の外にも二十五歳位の青年 膨んであるのを刑由方面から医定し続き重要を貸はせたのでセプラ その運轉手は逃走

肥料四百八十叺白米二百六十叺

トラツクで積み出し進永で捌く 漸く泥を吐き事件擴大

人組食師破りの犯行については馬一明、この大量氏はトラック巡査に も餌々取調べる舎である よるものである事を歌知し前記三

山名中村司法主任指揮の下に監部

餐館から第当日米二百六十歳を⊪ 殿なる郷行は郷大の模様で、その』【大郎】青松郎府第画花興利九三した外朝鮮米敷谷風鄭鶴房山支庇』のである、商僧服、米街とこの大『復行〇二年』本 形 嬰兒殺し 懲役二年求刑

した認識に右の孤行を自白したも人組の仕業に選ひないと厳重証及

るに至つた、革徴は去る卅日耐食。フク所有の邦金、日之出自動料の「事徴の公報は八日午間八時から地「郡、制決書渡しは来る十二樣手段で縮み出した事實を自日す「照り徹底館取調べを貸行し該トラ」四根永賀にこに係る殺人死能重要。右に蜀し経験廃事に孫は、 営被しは来る十五日の害人格断舷事は懲役二年を末

三一面脳臨時が貨売費は八日一

吉田さん會頭就任

一時半から明實、出席談話二

(鉄魔三名) 部上、中村の

型破りの超流線型

しかる時速は百二十キロ

仁川商議の

| 統為代表が現場に主義の振水門路一能へ飛答の神経を刺戯してゐる|
「經營に許さぬをを申合せ早速歸」々たる安奉線列戦内の整難事件は するまでは低位置地帯の溜水挑除|東្野野者と共に属出たが、 ツ折財布を何高かに満まれた、安 金七十圓、滿趣登綴バス在中の二

青い眼の海軍さん

蘇者『ひかり』の二等客、安東税 監殿科長道本治三郎氏(1)は本 いた膨脹上衣ボケット内から現前、五龍背間で洋服掛にかけて 頻々たる盗難 安率線列車に

日分の翻意は昨年七月頃のとで 十七年前の画達員と十五年の 毎から離れて」は後輩に急をあ 5一は顧みられなかつた私的生 人月には歴史からであつた 人月には歴史からであった 人月には歴史がらであった 人月には歴史がらであった 人月には歴史がらであった 人月には歴史がらであった 人月には歴史がらであった

・ノスを成骸事を通じ交渉する野 なほ金を謝けなかった水兵にけっ り五十五銭で頭らすることにした の金を使ふので定饋にハンデキヤ

清州中等生

された、理由は米だ能かでないが、後等三名はその数日期深夜朝鮮料 理解華盛館で飲酒したことが設置 三名は去る六日突如退撃歳分に 【清州】市内案中等學校五年生菜 三名を退學

傭へて俊戦な産融税総関係を走ら て平原に連れ出し鑑山を心配して 宅したところを平原党政と選押さ 怪事代として捜査を続けてゐるのスピードアップを津汲、それに をつけ昨年九月中旬報音書をもつ たところ去る六日子供続 さに歸 明で過失なか交 け他教が判断せず

【華天】諸感では金線に重り列出(ごごが相當金をもつてゐるのに目。圓を詐欺逃走、行方を職ましてゐ。何等の手担りなく且下の誕生死不

禰鐵で彈丸機關車を新造

すべく、脚戸の川崎屯棚工場でも

やると称しその手付金として金百れた

棧橋を舞台に

輸を目下就作中、近く完成、 中旬には福盛線にお目見得す

クエンデンを備へ店速百二十キロ

ロテスクなもので我國殷初のタン

就総型に比しもら一つ型酸りのグ 萬国で十年を川崎に往文、従来の

語である、間機関車は一輛十二

という文字通り日本一の弾丸列車

(Te)と世親し江西郡仍次面金並殿 (近極線を撃撃として内地渡航を目し掠(*゚゚゚)は平南大尉郡古平面吳豊穣 (失つたので著くなつて風出た、最)

[平理] 平奥府館管里一七三**斎**重

製二十回を描き上げられて表を見

「露出」奇怪な船長先派事件は実 付未辨に属する高位置地帯に民等に馬山」奇怪な船長先派事件は実 付未辨に属する高位置地帯に民等に

に微三ヶ月前から四、五十名から 切見の弱化 『男界に微三ヶ月前から四、五十名から 切見の理念をしてゐると

ではありこれら盗無数の機器には 河川鐵區をはじめ各鑑區を公々然 大明旧町夹盆商官主河野氏所有の

石山から金鑛發見

| 鎭南浦の街を脈はす朗話|

質局も手を焼いてある、而して一 と荒し廻つてゐるが、山中のこと

八日、三興

部いのは 一級十

|囲ばまでの收入を暴け底に一萬| 1ト機附近約||千坪を石材採取の||程珠石中、揺る石が普通の石と連|

【鑢南浦】府外大頭里のコンクリ

目的で買ひ取つた朝鮮人基がこの

正義則後の青年に属まされて虎の

船長の失踪

面には同面を長がこれに内能を則 門を崩破、熊水作業に着水した裏

舞戻つて捕る

つてのた慶曹忠殿郡三夏而麻川里 くなつたので一擶を別することに、 似小頃女(こと)が中折棺を送つたけ なった

水上配出所削で複航液の交付を符一峰ひ物にする不良の出洩が高だし

然温水深く挿秧不能の現狀にある

拒断皆にかゝる既百町歩の番地帯 るところあった、問題の要點は東 **奮合、長時間にわたり服々協議す** 以山都舎人面地では連載水間地で 八日正年頃多数の農民面事務所に 沙里院。目下田権最中にある

【釜山】七日午後七時頃髪山楼橋 | 的に釜山へ集まる無垢の田舎高を

内地渡航者を騙る

祝小順女(こ)が中折解を疑った廿

野藤段立ち 我々商議機能設備の上から公人適法で代田氏は會頭になつた、

沙里院の水

更生の陣容を整ふ

れて大風一温の利やかさ、朝鮮商

型散災の他に生蔵振りに凝集にみ一

関復政盟署に入り三新議員の総盟と戦になける戦略の要ありとして

脳を捕獲で定め吉田秀次郎氏が二

| 野氏の壁様によって語での数組を ある、カフェー歌を店組合ではフザ代田氏は養蚕になった、 | 解消し簡潔本然の姿にかへること ランスの海軍に殴りピール一本人| 「一個開機能動権の上から分人 | 「 になった、即勝動能を競技け苦封 | 十支をよってこう - 5 智・人代田氏は養蚕になった。 | 「 になった、即勝動能を競技け苦封 | 十支をよってこう - 5 智・人に しょう しかるに周氏が曹顕 氏髄説の經過を辞述しついで新蘭」ると繁衍に持ち込んだり、六日夜 きつけて齊かし郷布井五伽を強軽はを受持して来たも」になつた、加膜御説愛賞長は吉田 十銭をとつてゐるが劉利をむさは「熈竹三郎(た)を叩き起し上資を突着が変わるようになった。加藤御説愛賞長は吉田 十銭をとつてゐるが劉利をむさは「熈竹三郎(た)を叩き起し上資を突

を設むと力蔵し新館域を紹介後年。様みに採んだ西端館頭は古出宗式。とで問着を起し富島を常愿させて、山港内赤海中部の土木出版所で事を遊べ館頭は金額「金ൗは大夕戦」り乗総なく手縄上投索し、ことに、になり過ぎた海軍さんは勘定のこ(・第47 八日午町二時四十分味養のも繋が協議であり金割館頭売艇。 安全書田氏を顔頭に撒すことを譲らなるが、サテ場つたとに明らいを観光観線であり金割館頭売艇。 安全書田氏を顔頭に撒すことを譲らなるが、サテ場つたとに明らい、一般の赤海の地についた。と所営を複雑し金割館頭は海易一の過場をを取出し管業額は北東東

四五十名も組んだ

添谷郡下の砂金鑛を荒す

すでに三月にわたり出没

税關科長の

って断乎盛分をしたものらしいされたらしく髪校常局では謎を振

人當りのカフェー蒼くなり

その筋も手を焼く

釜山港の船を襲ふ

進走した事性があり目下手配要査 | 性類疑するので驚破中、七日午後

か わ せ び

コドモの

市場的近を徘徊する撃動不群の男

を並指事が引致酸重取調べた結果

こで約十五日前統置に入り込み官

展的にある。」 - 「本社の所工事」中であるが、被認識が明日精神を上て温水作業船(受取つた事態を知つた語の所業らを二人組の質面顕循が製い船頭五 し、 感り場で掏る

正せんとするところを平原省最に べ〇記元在でごのボケットより現 菜中のサーカス蟹の入口で黄金町 規認されその場で連邦された、除 **革十個入りの避口をスリ取つて** 七日午後七時頃八千代町で目下興 【平學】 府內西城里上上復在明())と任所不定金昌根(***)の附名は たが既に判明した被害額だけで百 舎郭門に売し墾つたことを自白し 五十圓餘に上り引行き取調べ中

追剝ぎ

一味三人組

古器物發見 李朝時代の

> で起動機船長木高菜を各叩きにし 【三生山】四月下旬釜山牧の島遊師

て現金八十回を過程逃走した三人

【大邱】去る四日殿州郡前邑東吾 組の追溯はその後手配中六日夜全 南庭水で犯人忠北生れ住所不定秋 朝釜山圏へ押ぶして來た 任中に一外共犯二名を逃順し八日

【統營】 版近市內各官舍に從經事

◆……[秦] 雷 得意の三脳坂』を始 めたまではよいが、 ぬところが出來で來 修若の三味織と合は

は無い、モット駆い」と、やると んな子の無いことは無い』と極若 言こんなサワリの良いところでこ 記書指行の二次語で警察部長末宮の新聞 ◆……さて部長さん 「そんな三味線の手

施能につき組々棚a版した結果、左 し市民に對し時の極窓を喚起する たものだらうといふことでケリ た時に『どうせ属等原津暗脳』

7增

良藤

元造釀

元賣發總

株合 油造 醬酒

式名

2000年1日の『時の | ビスを行はしめ大いに時間救重に

清州時の記念日を町に四

は時の記念日 あらゆる機關を總動員して

は昔日年町十時から居内殿なく一吹き鳴りが氏に暗の郷念を強烈と一変を引きて、一切で大々修行事をなてとに決定した。 「電料及び郷がなた「宣信文を振出」 職する調話をなし土たる時間近で 調正せしめ「電視戦」・青に、古の理解と 変しつ、脱布して徹底版に置版する。 常日各學校では時に 一井が間が内一貫に一時前返し 各家郡が観惑を強重して解説。 では、教育等の苦頼を助して本語、各国では、十時十分間が内一貫に一時前返し 各家郡が観惑を発重して解説。 では、教育等の苦頼を助して本語、各国では、本の大型時間を 動いなと述るとして解説。 とともに無別を作ることになった。 まっともに無別を確定する。 「一時一成日の概念を正正を表している。 なった型時間を 動いでなるともに無別であれているとは、 なった型時間を 動いである。 は昔日年町十時から居内殿なと、 一時十分間が内一貫に一時前返し 各家郡が記録を発達して解説。 といる 一時でありた 人間である。 は昔日年町十時から居内殿なと、 一時十分間が内である。 は昔日年町十時から居内殿なと、 一時十分間が内である。 は昔日年町十時から居内殿なと、 一時十分間が内一貫に一時前返し 各家郡が記録を発達して解説、 一覧ので、 教育等の苦頼を助しが出、 といる 「一時前のと」 といる 「一時のとして、 一覧のといる 「一時のとして、 一覧のといる 「一時のとして、 一覧のといる 「一時のとして、 一覧のといる 「一時のとして、 「一時のとして、 「一時のとして、 「一時のとして、 「一時のとして、 「一時のとして、 「一時のとして、 「一時のといる」 「一時のとして、 「一時のとして /記念日」を理べて府では底例に「は各新聞に折り込み、なに五子牧」イレンを正午及び午後七時の二回 正午一分別より正午まで一番にサ 平 は、 十日の第十七回 『時 童を通じて各家庭に配付し五千夜 衆の時間調金にサービスする外サ

北鮮に盛りの鈴闌

時間尊重の大宣傳 時及正午、午後八時の三回に亘り 質を聞き協議の結果十日の午町六一 窓に官政各際個代表を集めて協議記念日』を迎くるため四日白館語 **サイレンを吹き鳴し正午はサイレ**

ン及び各数館、き院、工場、行船等

挨 拶

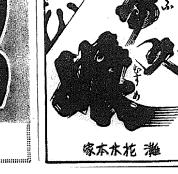
東京市澁谷區穩田一丁目九番地

衆議院議員 藏

京 城 明 治 町 西部末局 1572:4037:3939 便秘に注意 家學って 揃って健康 称束あいく 剤はまれ まり、アルの発



+



あればいけません、コハクには、 をベンデンで減く方がありますが

コハク間という間がしてあり、か

|きのふは般のあるスカートを作り | ポズボンなりをはいた上に着るス | 下に着る学ズボンは連動具店に愛

一つてゐる男子用の物でもよし、

3

本文化

重っな

英天と申する話なり、諸國修行の

7 20

後身は中心線 をりかにする 後身だけ(2セ) まどる (身中の 言のところ)

たととった中だ

竹出に表っ (点線の通り)

の上に着るスカ

から、ジョーゼットとか、クレー

デシンの形の出れは、パンギン つて汚跡がひろがります。です

ようしらごさいませらが、コ

汚れをよる方が効果的です。

深でものとされてありますが、

ほめた時度を出す人がありますが ん。で、その觀の出ないつほめ方

解、これはすぐつ

|のがよろしい、袋へ入れて空棚へ| は、乾いてしまうと他に浸みこん | き様に向けたまく、誰にお明きで | のです

これなら

イク

に行け

3

父さん、兄さんの古ズボンを作り

の言を同じかってもようしい、プラウスはき

NO 2の作り方

ん出たら慶後、もう直りませ

は、極めて部かれやさしくつほめ

をしていましてす。 やさしくそ 4事です、急につぼめると覚もす

とつぼめるやうになさいませ パノソルニコハクの競

年は保つのです、大事になるでる手。す、

人法をお知らせ致しませら

く選択のたい場所にお願ひになる

によって一年きりと思ふ物でもこ 原本などの歴本は我に関する知識

うも保ちの上に大抵があるやうで

出来ればバラソルは安闘でな

は必ず出分を含ませてありますの

事は、聞きりの上手下手によると 絶当に ぞへなければ なりませれ

> ません、その部分に水分が一番と 乾いてからお鰯ひにたらねばなり

くたまりますから、この部分の能

して、上のログロの部分が、十分

◇……又 乾す時陰干に、そ

ませんはインキの臭ひを撒つて寄りつき

ッタリ印刷してあるために、最重

いふことです、よく雨泉を聞くと

で、これに泥なり汚れがついた時

職、バラソルに使一

にパラソルにかぜが出るとか、ど 一族 甲 な まかにし 場所は懸心出来ません、そのため お置きになるのがよろしい れは、安職と云ふ湯気を起し易い一意くよりも、温泉のない上の方に

兼用傘

時间兼用電

雨倉 前車の保ちの上で

三倍は長持ちする

必ずよく乾して上部の帳りだけで一起すよく乾して上まひまず、繋ぶ時は

れの除れぬのをこずつてあますと

乾いてから無理に汚

はらくてによくほごしてから、寒 必ず石つきをよく振つて、折目を

縫ひ上げます(京城洋版器

増外男氏が案)

くやらにします、このこつを忘れ を頑すぐに向けて、上にすつと間

ら難はぬと戯じますなく懈のつぎ目など

月など十分乾いてか

ものは三年も五年も保つものです ずに傘をお便ひになれば一年保つ れ次第で。。

行 おくのもどろしうございます。船へつければレチンを一切口に割んでへいたが、そんなものゝお揺合せがいるが果あるもの 材を放べてあるがよろし る方は水を吹まずにレモンか夏安 湯の中にしばり込んで飲むか した場合、生姜の汁、離 薬のし醉船

> 十二指膓蟲の 家庭療法について

ドニ指腸蟲の脳除法をしては締馬 本田 博士 リン』〇、五を陽鑑に入れ、早朝

蟲の騒轟には除り使用しません 【間】 年齢、十八歳男子です四一より個を難多の經過を取りますの「らぬ方がよい

京城女子實業

ņ

7

創立十周年式

脱ひられますが其の内でも『チモ 『ニキス』 『チモール』 『ナフ

ハリン』 ロベタナフトール 等が

据されるのであります、現在展所 (交は『ネマトール』)が質 | 空腹時に頓服し『センナ』後、四 既及蟲體を見ざるに至つて止むのれを採日一回宛服用し、便中に蟲 脚服用後一時間を延て追服し、こ 蟲腦徐に用ひるもので、十二指腦 されて居る石榴板皮は主として凝 大、〇をその『チモール』 答

ール』二、五――三、〇『ナフタ

林族は其人の様菌に對する抵抗力 如何により交其人の差生の如何に 瀨戸病院長

風に問してるかにより異りますか配々の療法も微菌が何處を何んな とも申しかねます、自宅派法では ます、酸乏の人はこんな病気等やら酸酸に本紙上にては申上げかわ 層確實性をかきます、薬も其他





情は貴殿が 島伯 工正美畫 萬

人融版式部展像が、二三人の家等を制さずして、打ちからりしゆこの懸ぎの最中毛利家四天式のに、先到、御書家の家臣は能く我 四天王の一人たる極度どのとあ ゑ、能性なくこゝに相手を致した 散修行の身の上でしかし、毛利に を探りにまるつた者に非ずる が、只令も申す如く、吾等は、武

安心出來ない

美白な肌を創る 優秀なクリーム

ます

ば、相手に致して不足なし、 みなれば一騎打ちの勝資を致む と、少しの怖れ知もなく、新く

|多勢の者が打もかくるとは富家の ?、 錮まれツ!僅か一人を相手に 一つた馬上の武部は豚心して、 今のお言葉にて、変細の様子も朝 旅て、其名は聞き及び申すが、只 答へた。 天晴れ豪傑の器と見て取 り申した。家中の都の不遵は、

めが分離して延びたと感じるだけで、大切な

に思はれる事があるのは、クリームの複句だ

られてあるクリームの特徴なのです。パニシ

ソゲの第一部品帯酸特許でスターペニンング

に最適の酸化状態につくられ、激素力・気養

香料品化学の構成西澤地学博士の苦心で見

クリーム分は頭の一處に厚くついてしまふの

です。これは大低線化の不適常な野台に続い

起びないクリームがあります、しかし

しとうし

で、「等」に延ばして見ると指の方まで無視な

電影なパニシングは先づサラ つとした感じ

をびます、これは最も運営な製化状態に何

バニシングクリームを一掌に死して見てよく

たノリームでも難につけた暗はよく悪びた様

恥辱ぢや。退けッ…

と呶鳴つた。スルと、

「それ、福原さまのお越しぢや」 より卸売が仕る。御容赦にあづか

▲皮膚面の一部分をクリームが厚

く数され

した場合見苦いようはげします。

め、分泌物の影響代謝を妨げてニキビ・吹

ン性ラセランと云つて美の基本的面音となる

実肌制を配合してあるのです

「自由の天地」なが大船

秦野通子主演 完成 宏監督 近く

れたパニシングなのです。それに母大な特徴 呼出物等を防いで美音な地風をつくる性能の はではなっている。 よすからお化粧の モチをよくし、 モキビ・ 神論等が断然優秀で皮膚面に舞く均等に延び

として蜀選特許の基本美肌増スキン・ホルモ

▲クリームがようにつきますからお供職に



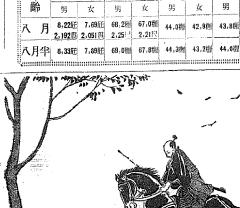
建つてゐた。 衛が、奉行所の人敷を相手に祭れ 臣を従へ馬を乗り立てトヤつてき かと駈けつけて見ると、後膝又兵 馬上の武部は、これを見ると大 配国の間牒が入り込んだという

(昭和4年•東京帝大小兒科調)

女

42,7稻

影響で	ける	34		2	
	本多	邦乳与	力兒到	と 育 標	4
年	促	重	身	長	
年齡	男	女	男	月 女	
、 月	8,22EE 2,192E	7,69征 2,051日	68,2極 2,25	67,0權 2,21代	44
【月半	8,33Æ	7,89j£	69,01	67.8M	44
	**********	************	************		



****	4911	~		1-1		_
				本	邦:	3
- 11	年齢		Br IL	h Z		Ē
	憐	à	ŧ	月	:	ţ
	八	A		22 E		
			,	921	2,0	
	八月	半	8,	33R	£ 7	, 1
7,			******	111111		::

手間でも濡れてふる時、歸つてか

すぐいたんで来るのです の腐めにロクロの犬が大きくかり

解を縫ふ (四) よを組腰の上

はせてインサイドベルトなつ (11) ボタンホールを作る。

(五) ボタンをつけるこの類

◆・・・て すから聞く時は、

するという事をお忘れになりませ ら水をかけてざりと流つて陰干に れてゐる中に落すに願るのです。

掘山豐、野口子代画先生を表彰し 念式を行った、同時に開模以来判別の 連へたので七日年後一時から同校で記 原城女子既差學校は个理副立十尚年を

(周囲対応法)

で決して取れません。ですから鑑しせう、すると特に力が入って、そしを萎騰し(一)をつわきを含

はがありますが、桐の葉を乾して 文便所の臭気止めとしては確々方 一
國の間牒なるか、現は、御主君に對 籍に及ぶとは不屈き至極。全く敵 君に對し個々暴言を放ちしばかり めに入り込みし出、何また、御上 か、戦多の家臣を傷づけ、

する私の意恨なり、それによって

☆新しく求めたお皿や茶碗の類は い季節に大抵の家庭で食べる夏蛮 うることは腹々行はれますが、響

す、これは籔をつけないやうに大 フタリンを喰いておくと、腱量に とで帰の下に致き、所々に耐米ナ きくたいんで保証し、大掃除のあ には、中々上等の西洋紙がありま 質物をした時の包み紙の中 衛に入れ水を入れて煮立て、 て入れるのも相當効果があります 構、その皮を細かく変の目に切つ れは實に不思認です。こけてもこはれにくいものです。こ をさましてから関ふと少しにふつ

一話にて何といはれるか、姓名を名 一般原式部版俊と申す者なり、夢常 おありと知られたる四天玉の一人 當國へ立入りしか。また、何れの に各乗りを上げて穏便の沙汰を願 東られい。 某は、毛利家にてさる を望むか、確と返答数されい ふか、但は吾等と一騎打ちの勝員

スルと、延兵衛基玄は、手にして **ぬた棒を投げすてゝ、** と、叫びながら、詰め寄つた。

『オン像で聞き及い毛利家の麒麟

ざるか。吾等は、播州三木の城

退つてしまふ。この時式部は、交兵

足下は、富城下の様子を探らんた 術の方へ向つて再び大音殿上げ、 『アイヤ、それなる浪士!承るに 願ひたい 何卒暉元侯へよろしくお朝成し ての軍ひでは御座らん! 即つて編み入る。腓に、促みあつ けし酸は吾等よりお花び仕るゆう アイヤ、極麗どののお言葉にい

みになった。 てみると、豪傑同志だけに話が見 い。互ひに、その不確を能び事業 たが、斯く打も解け

響して、其虚立去らうとすると、 下も今野は富城下に御投宿の思召 『後膝との、暫辱、帝たれい 方に御一般下さらんかの職々軍事 しならんのされば非常なれども

配がに相成り申さん」 「折角の御好意を否むは御不禮、 と、言つて引止めた。交兵衛人 丈人で、風を防ぎ大武石版刷でべ 「後へ引け 言つて、どつと、一届は引



用が弱いのですから ▲皮脂 鉄の機能を勘へ 刺ラセランは皮膚細胞への透透が迅速で、柔 ▲皮膚の弾力化等を完全に行ひ地肌を健康に 選を補給し活力を見へ、老縦筋を無視する作 マスターバニシングに配合してある基本実肌

基本的福音 有事にはので表すと例について記事の後人・

にケ神の後には聖神をが開から、とを神の後には聖神をが開から、とを神の後には聖神をが開かったり、理解が明には聖神をが開かってもます。

「はならなら、で、元リカので記事が、なり、で、元リカので、元のシングで創業の後には聖神をが明かっている。

「はならなら、で、元リカので記事の後人

サラっと溶け込んで肌を養ふ

るぬりちとへほ

對局者の言葉

て見るものでしたか アミに黒 『か十』目 『か九』 黒 『か十』目 『か九』 黒 『を入』 と つって存外らまくは行かないもら

オリンビツクに

村 上

四百米暗碍

國は館の大総章を指がした東京大一間、

紗昇、 兩國、出羽港、新海らの人 大人館の中に分れて巡察に出たが 一行には右の外駒の里、高登相撲襲出所も渡み首組は、削れる 遊あけと決つた









(制限時間各八時

有

名

藥

店

販

寛

對に企及も得ず本藥の最も特長ごする處の 治淋薬ゴノフアミンの驚異的の偉効は、 座藥等の迂遠なる藥劑の絶えンの驚異的の偉効は、注 四 症】

タル、尿道消毒、 慢性淋疾、消渴、 膣内 膫

滿鮮發賣元 阪本治作藥品部 京 城 旭 町

拾

П



あげよ日の丸

果になる獨逸の

挾なる障碍

百十米贖碍

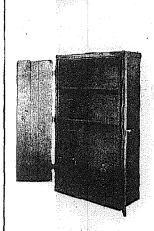
蔵山組京城へ 九日から五日間 八氣力士づら

恐らく五四級郷と既はれ三等以上の遺跡を避せしめてゐる。入質は

九州遠似中の鮮盛硬式庭邸部は六

| (神) (11 B | 11 C | 12 C |

第一回作品の那十個 田の出 を拜む 全鮮唯一を誇る鍵製工



熊小鋼鈑工場

場新設致し従來の市價 より二割方安價に御提 供致します 時代は木製家具より鋼 **戯板に移つて密りまし** た寒暖によりくるひを 生する朝鮮に於て一層 鋼鐵製品を必要ご致し

二割安の提供は多年の 御客願に酬ゆる奉仕で ひざいます

熊平商店 ama flore 5415

京城繁榮律四前

三千米障碍

花嫁の感情

内科小兒科

レントゲン科紫外線

をのむ

それで一日爽快

創設必至の 財産税とは? -島業界は反對 滕田調査官との懇談會 どの金利も内地及満洲に比べ遜色なー 買鑢競爭を展開 小麥手當に惱む 狹みの船會社 調停に側面工作開始か 關門で拂下らる 最高値で一萬二千俵 爆發高を演 ■…■…■…■…■…■…■…■…■…■…■…■…■…■…■…■…
回雨らしい雨をみとなる時は早敷気 となる時は早敷気 となる時は早敷気 が何めと共に荷も の料は脱歌に悪く を送するものであ を送するものであ を送するものであ 方方方立 小人, 不 目丁二通門 大帝府城京 番00一五局本電表代 十年續さ凶作相場 中間端境高は必至の情勢 一世に取行するものなり現に六限の場所を が担保するものなり現に六限の場所を が担保するものなり現に六限の場所を が担保するものなり現に六限の場所を が担保するものなり現に六限の場所を が担けするものなり現に六限の場所を が担けするものなり現に六限の場所を が担けするものなり現に六限の場所を が担けするものなり現に六限の場所を が担じがのではとする者は即決即断音 社に來れ苦社は此度に限り奉仕的に一大特 場にて必勝を期せんとする者は即決即斷音 社に來れ苦社は此度に限り奉仕的に一大特 場所すべし 要を提供せり其詳細は申込あり次第無料に て送附すべし 大変ルとなる。 推獎(京春鐵道株) 大阪市北岛草島港通一丁目八十七番地 有

舊全集の逸文を初め、日記、書簡等、多

整然たる體制に 編輯の科學

出の貴重品であつたのを岩波版。鵰外全集」に公とになつた。特に先生の日記はこれまで門外不

日記、書簡、椋鳥通信のたぐ

不満足な點を改良するのに全力を盡したことは

ふまでもないが、その他に先の全集に漏れた

岩波版「鷗外全集」は、前の二

一種類の場外全集の

にとつてどのくらる幸福だか知れない、にすることが出来るやうになつたのは、

讀書 それだ

けても新撰「鵬外全集」の意義は大き

ある。本全集は鷗外の全著作を網羅し

神の支柱となるべきことを信ずる この新全集の刊行は我國民にとつて精

囘極出來

第二卷小說

赤裸に客機した中龍佐作「キタ・セクスアロ殿外をして文墩第一線に立たしめ最も人口に

全廿二卷 經濟監察 第一卷結婚。據曲第十二卷 稱為 二卷 小 說 第十三卷 稱

申込略規

は愛情のホルモン注射、

となるこの「復活」。果して狂魔を高の宣行!!

ージャ

中央公論社(灩)

京城地方法院

横震は我等が孤高の文豪に對する標たるのみな建の礎石であり、併せて設計書である。これが

らず寔に民族の文明向上のためである

美はさすがに銭山除水り及事にきったいが一度これを成し得たものは名山踏破の快ないが一度これを成し得たものは名山踏破の快

美はさすがに残山除水の跋渉に優ること子

るを悟るであらう。

この全集は國民文明の再

を極端するのは必ずしも容易ではないかも知

て一牌のうちに展望するに等し

鷗外全集の繙蓋は日本の近代文明をその絕頂に

である。

的なることは本全集の最も誇とする所

近時の文化の混迷期に際して

民族文明向上の爲に

夫

發行所

(各內容見本進星)

堂

於て文豪の全貌を傳へる。 くの新資料を收載し、 化に對する一大指標を獲得することで

することであるのみでなく、将來の文

本の近代文化をその経頂に立つて展望

彼の業績を知ることは日

學者である。

的にして世界的大さを有する唯一の文

た彼の渾然たる作品は我國民の魂を醒 それらが激しく相打つ所に鍛へ出され

思潮と、自然科學的精神と詩的感興と、

の業績である。

東洋の傳統と泰西の新

明治大正の文藝家のうち後代に最も大きい影響

まし、之を廣め、之を高め、之を明かに

し、之を美しくする。鷗外こそ眞に日本

秀性は明治大正の一般の讀者には理解されなか實に顯著に日本的である。 然しこのやうな優

世界第一流の作品に敷へてよい。しかもそれはそれは時流を超えて何時も新鮮な印象を興へる

て天才的に透徹した人生洞察を表現してゐる。 を及ぼすであらうと思はれるのは森鷗外先生

先生の作品は比類なく清明な文體によ

りなかつたからである。あの優れた作品を充分

讀者の側に於ける世界的文化の發養が足

工學與土

送斯金

に理解し得るのはこれからの讀者である。

東四十共刊夕朝 デリ 東月 あさ 8.9 人に 2000 かと当いる 人 選 8 田丁・基本和学家 は現日学家 社会会を 所行表

がた。

京城府黃金町三丁目永樂町通り

西民星康治西

勝造先生者

月立つてし

充分なる日光な: 数音するころです

档

精神異常は治せる

転の新治療法の公開不治と云はれる此文明

这页章 注意 注题

男

0

を苦を問はず必識の書 中年期のS:S・男女

t.

如何にして萬病と翻り

圃

病

祕

ф

大院 随意 響楽 音 京城 ニニニ人 新慶良 / 往参へ可成年期中 三 御申込 三 別 東京 日 東京 本 田 建 義 と 日 東京 本 田 建 義

明治大正の過渡期文化の波瀾の中に新

、古典の高さに達したものは森鷗外

齋藤茂吉

世界第一流の作品 野

工學博士

殿庭用力學又は構造力學

意 院 府 永 荣 以 電話本島(NOCKT #

關人

は漢へ下さい

マッダランプを結けませう は 従って電燈費約二額のお標でする額マッグランプは明るさ約二間を増する 龙 60 下かい。

少し斜視氣味の、可憐なカチューシャが出て來 と讃へられるトルストイー代の傑作だ。本當の 教育家・政治家にとつては新らしい道徳の指標 ては土のめざめ、資本家にとつては所有の反省、 つては人間愛教科書である「復活」!農民にとつ 源を知つた。

と誰もが云字。 ると、たゞ胸が張裂けさうだ。有繋に「世界の涙」 **若き人達にとつては求愛の聖書、夫婦にとつて** 翁憤激の名者・原久一郎氏命がけの名譯 「ごうる」が働かない……」「では早速 家庭の子女・學生にと

・シャを知るも知らぬも是非一種すべきである。 である。──業者原氏またジャン朝頭になつての である。──業者原氏またジャン朝頭になつての 変用於るべし。しかも涙もろい日本人は何遠疆ん 奴用於るべし。しかも涙もろい日本人は何遠疆ん が無いのではない。果してロシヤでは直おに数百男の が出きない。果してロシャでは直おに数百男の が出きない。果してロシャでは直れに数百男の がある。──業者原氏またジャン朝頭になつての である。──業者原氏またジャン前頭になっての である。 **イ全集全二十二巻 略込銀一職** にまた言具切だ

大斗 電本二三二

繼续登記公告

滿洲國 の法權撤廢 史的調印

式後固き握手の諸行

(は京本語)瀬川國に於ける治外法撤極壁に歸する日韓附國代表の歴史経行成は愈上十日午後三時より兼京外交部聯合において行はれる、右謁印団代表に臨1 瀬川國に於ける治外法撤極壁に闘する日韓附國代表の歴史経

關係官招待會。午後六時二十分(日本時間七時廿分)有田外桐答禮をなす、引赖き大神ホテルにおいて國防總理及び外交部大後四時間工式や、國防總理及び外交部大臣は祖田全権大使を官

なほ翻印式後至適各地において一般に祝賀曾を儲すけず 同説質質開催 ◆十二日高質識を削出に引機を開催 ・電視を開催、年後六時より六和ホテルにおいて種田 ・電線を開催、年後六時より六和ホテルにおいて種田 ・電標符名及が話會演奏列名に對し極田全羅大使より ・電解符及が話會演奏列名に對し極田全羅大使より ・電解符及が話會演奏列名に對し極田全羅大使より ・電解符及が話會演奏列名に對し極田会羅大使より ・電解符及が話會演奏列名に對し極田会羅大使より ・電解符及が話會演奏列名に對した引機を ・電解符及が話音演奏列名に対した引機を ・電解符及が話音が表す。

る福長會議、地方事務所長

「八雲』の兩概は長科、硬鵬科、した、これより先、同艦雲組織の番音中将指揮の練習艦艦「壁手」 | 十一時 三十分 徳須 賀軍港を張舞館夜の郷備を整へつ よあつた吉田 | 中少尉帆 宛葵 生を乗せれ 日午制

朝鮮軍の抱蒙する

對滿移民方針

旦大な自由移民を統制して

强力集團部落造成

海の準備を整へつふあつた吉田(中少財研究製生を乗せれ日午的「横須賀亀語」横須賀亀語で遠洋「主部科の各 少尉 候補 生態に角質

須賀軍港を抜錦

鐵道陣の肅 当する帝國政府の方針を正式決定 が概事正拠より まする帝國政府の方針を正式決定 が概事正拠より 佐藤大使あて即電を載する方針 * 放送時には上、115~3 一、思想犯保護觀察制度實施についたに前外統省では十三日の観 | 日の諮問事項

第を印した今回の下務局要線に関しても建版の即途に関して至く見送し、「果屋市門 関鍵の線型に一大声」人類を行ばし続きが戦であるとし 人事異動に期待薄 ては重大圏心を有してあるついては重大圏心を有してあるっては重大圏心を有してある。

今後の 方針を指示する 際の山田観察所長を起用して當面原建設については終月 大せんとする原際にあり今期景観をすべき部内創建最順能に写称詞 しつかず焼に開墾版は左は益々戦 に官房破党所長市田隆二氏が王弥一置を別等してゐるに過ぎず王弥伽いて決定総改されたところは南か一キルの解威である山田氏に再進度 ところであるが、九日の隔極にお このとして最も治日を想いてゐた | を研究せんとし、しかも瞬門トン 市を目述に整く形成トン 1側の態度を置し正平面起を終つ「半において全電監器での開催、本「協議をほ行と找方の方針を説明し更にイタリ」は九日年明末時半より司法省會議「けられ年後と残ちの方針を説明し

は九日午明九時半より司法省會級「果京市話」司法長官館総第二日

議の第二日

をあげるやう社意しなければなったが出来るから本法の質節にことが出来るから本法の質節にいては選定を期してその効果

意見を明陳、國院恢見地からも手所の劉彌が民間遂にその抱閣する朝師軍では軍としての立場から本

| 常を内地人移民地帯、南部は鰻 すことのできない脚跳なので領
が大移住地として解放する窓向で 人の移民地域に第の窓向を が大移住地として解放する窓向で 人の移民地域に第の窓向を

の如く正式競会された。一部氏は今回海洲國中央銀行網扱

○であるが、脚東軍の選足を加味

の成立をまつて本府に製製する **高朝鮮軍の移民案は、年々長城**

雄業の建行に資すべ

の形となりこれは國防上にも見避

ものと解される

次民族と、開経正を超えてゆり **越たで流れ込む年卅五萬人に上**

大半は共産匪

の罪に関はれる今日、本法の罪共産黨負以外の者が治安維持法

き考慮すべき脳如何

事務所長、同工物源長等の重要な一 は至膝のまし難く正務接軸|折幌山田氏の工務局長により今後 再建設

| 八 事の翩新に慎重 | 疑問とされてゐる

日廣田首相を訪問

郵便の記事から毛奈野、ボロにし

に開版してゐるので歐所一任とす 大要は左の通りで特に毛織物取料

市話」心思を唱されてみる中

有田外相

リ特使

重要會談

積極的に意見交換

貴度節の被支目的が他にあるも、計量を節が、性軽在中であつてその、意能等外に軽在中であつてその、大いが、いいのである。

が 模様で、このうち京城建総事務所 は七月早々開設する寮定で立く建 の 方面に架権戦性のもの玄奘師・技手殿の異

| 部刑歯を債シンギケー期限|| 八月上旬の豫定|| 北線財産

心に當り本高さ

(但三)ヶ年据遊後七ヶ年に毎生

西 総工事に年少益山方面と、葡養州、中央総の知地総称を行い説明の版 と 良事が所け意場を清明に各一ヶ所、 改良事が所け登山版、三渡畿間の版 と 現事が所け登山版、三渡畿間の版 と 現事が所は登山版、三渡畿間の版 と 現事が所と新述するため東

【鬼兄龍苗】駐日イタリー大使ア

蘇交沙につき版田首相を訪問 右に先立ちユレネラ大使は十

總督濟州島

扶安、高敞、 靈光を視察後

さから開門を織き、題に自動車で「二四へられ早が街道状況や装置工 事を祝祭して、五時水浦に着き、

国文はは

(東京不活) 在支九ヶ月趣祭の籍

内次官を加く凡を一時間に亘り支 祭につき重大會見を遂げ午後五時

問題を中心とする日英國際の副

が國民的生存に重大なる關係があ

一般問題

しにくいため、本耐文書説で 人々の鑑が強く定郷して悲取 構造の開始上電話に出職した ◎企理能する本所第一個競出

重要會議を控

【鬼景電話】崩滅シンデケー

勇退を申出づ 井野宮城知事

第一會議室の惱み

文書課であれやこれや思案

に騙し侵伍に途を折くため別退す

·逝:同十一時半齡去

1年前十一時四符次官本歌に湯澤

いるが▲それが

王族の功 かなかり が強大となり

するに当し日本側は日支職保は我

して八日人京したイギリス

見込みであるがこの意識は電視さ 夢の外に日蘇間の全面的活問題の 制整につき歳別的意見交換をなす

計東京戦本國に励ることになっ う約二ヶ月の豫定を以て来る二十

氏は、今回本國政府の訓令によ

東京学院」よる昭和八年二月省 した組員ソヴェート大便ユレネ

駐日伊大使 堀內次官

本勅令遠反者に對し罰則を殺

世界以門、蘇地野迪、萬田宗教、 二時年永田町富城に河北新大宮、「東京道話」平生文相は九日午後 間とす 生文相

首脳部招集

日一るが、米だ正式決定を見るにも一覧が、大だ正式決定を見るにも、質点には佐藤監佛大使用田スイス小便を派遣するに内定してある。

れ世間構画めて注目されてゐる、 関英の方策を構立するためと見ら

なほ有田外相との意見は且下来定

鑑を除く)に對し禁止的高等剛を大汗可能と設定する

一、羊毛及び小婆、小婆粉に對。 ◆政府原案 / 小婆粉に對。

沿門、ボロに封し線出許可でを行ふ

輸出計可制を設けることになった

意見を交換する

局長に低価されたのみで東京収良

・ 11日年後一時半より丸ノ内中央 敬能において作成せる、敷令業を上 命配所において暗礁を決定した。 を配慮所において暗礁を決定した。 を 動の時歴は今後における外交交渉。程、即日可決される暫でこれが趣 即日可決される話でこれが謎 **教園帝職等に對して職重なる應度。耐して今回の嗣總督の上京は指拐。省として文の副新、県翻歌革等文 | 人屋する智振物省に入車があった** 局大皇的に依り新陳容を整へ文部一用台的繼督は十月基隆穆十三日夜 濠擁護法可決

全議に備力なる集機移民部落の

も安岡縣で匪賊に拉致された。朝

東大問題である。他つて所関は支 目本師歌歌記と思いると信号である。他のでは「神野歌歌」といいては經濟的にも保護的能におい。 変響された人、認力、力・利用なる。 2000年1月 (1998年1月 1998年1月 199

一て隣保事業に売力、これまで

沿海州、北支と巧妙な連絡

十二日夜入京 と見られるが認耐としては暗温質 かた と見られるが認耐として暗温での高速では歌い 造成に努めるにある模様で、

|片付くか舌やは疑問とされてゐる| ら適地に集戦が住せしめ、醍動と と見られてゐる、

の面影は全く潮 極まりなさ行動 系統は不明で、 れて、今は紀思 鮮人の数出から眼域の系統が次の 著々亦化工作を行つてゐるものて活躍し、原奪、殺傷の裏面にな方法で連絡しその司令に基い

建設並び

鐵道局で近く新設

改良事務所

で紀元朝二十の國旗テル・

上務官職の認可あり次第酸表する

、規語三子萬圓(總額一位八千萬圓中の第四回分)

質に當つてゐ

成功した全書 上品きで足 本趣味の

能されることに決定、な任同資銀 各點景湖元

定通り地方長官會職終了直後の

磐手、八雲兩艦

【東京南語】公園養経部長廊議は「紫の暗像を初め禁盗、外事・園路」の元霖で海道な業蔵を先置に午頃、全世紀書の報告の他は改り人は帝軍部務部

質扱錨後一路シャトルに向ひ六月| 盟の劉示をなした、同監隊は極須 十時各族解生を醫手蠍上に變め一部外に見返った、永野海祖は午前 二十日間地資サンフランシスコ、

らハワイ、ホノルルに引返し南洋 國沿岸を航しコロンマンガニョか パルチモア、ニューヨーク等合家 変動を異なべく期待されてゐる北

三天工事は行はぬ模様である右は魅打切りとし期待された第二大第 完成の第一次の工事のみを以て一完成の第一次の工事のみを以て一

|州||八日同盟]||米國帝軍當局は來||任案敵艦照司令起 なほご十四日には左 任聯合艦隊司令以

行ふが八日その一部が起表された 總督を統理 K

赤十字機構改正 | 鵬して八毛万引下

近は平機状態を覧けてをり側上着 2 競を除へられる経験であったが歌一般を除へられる経験であったが歌

事本後も間もないことへ愁眉を削

田中日銀理事辭任

政友會の長老岡崎飛舗氏は一

東京電話」豫ねて病気引龍中の

岡崎邦輔老快方へ

田 米林野福園に選択しつくあったが 車は、既弥遇監を其の器長として発い 最初に於ける日本第十字帖の都様 の風滑を期する馬、器長の上に統 今回度に其の組織を帰化し、此務 に態更するに決定 作け日歩一銭三厘

理を置き、更に常沙副総長を配し て、統単には宇宙朝鮮地質を委響 し、常務副環長には陽崎元を向北 **瓜氏表彰さる**

目丁二面平太阳城京 通 央 中 府 邱 大

a Commence

店支針例

店支鲜僧

のる京城釧路六丁目の太顺善氏(* **忠城東部方面委員として活動して** 市沿

一日本府唯曾書に報告に來た、同氏 指摘用から方面をはとして最高名 **歴代表として角壁、脂上極壁弾長された全国方面委員が耐大機に関**

歴である功勢が革を授興され、

先 五七、三〇 特後期引 先 奈美、CO

品製助福い强てれ優

→ では、これでは、「東京用話」生保験では、1日午後 近く類版到来の生保閣の領機への

羅津港の

楯 京•京 東•社 本

鸭 招 輪 高 品 版 的 型

任第六海軍

任卒軍根據地司令官

任の如く異動な

元年記の数部第三

を妨げる難否認治を観光

利率引下げ決定 生保滿鐵貸付金

網塞冷紗裏爽快な

大明五十分組攬属棄養に下市、一び曹進泉校を見た、主た高敞では京城を設つた宇田器督は九日中町「高敞に向ふ、途中豊新中学監察及

向つて右上===木仮新態時計、文字板約三寸角周右中クローム・ビース壁(文字板三軒字)届さ三寸

だ人つて、腓派の主る殿因となる が入つて、腓派の主る殿因となる

大餐里) 許可思大餐里) 許可思

時間の蓋を開けたため、徽州な坂

版や謝知に出意すること

るおそれがありまずから、なるべ

等則監測書記制 並相率(此級及 建築光記權變、趙 致度關 之程樂光記權變、趙 致度關 、建築物ノ俄憲

(螺泵署長

樣式第二號

5

今日は時の記念日!時を重んず 時の記念日 質用と装飾とを兼ね

變形が流行して來た

起で十分事が足ります、近頃では 性ませんが、普通の質用には、歯産種類があるので態定的なことは申

得つ身になったものゝ揃! >することは、文化人として最も です、男子用では、龍時訛は大部 一般もれました、極新しいのは、コンバ ものに不既仏經があります、近頃、不注意が時計の生命や時間の正確と分クロームが終く最近あらはれた。 て精鋭でありますから、一寸した クト酸やシガレット壁のさげ時計 たやうな、蹴つきのものもあらは

とを帰調したるは、従来の時の宣

尺六寸、幅一尺〇五分……下===三吋イブシ驢馬(文字板三时)高さ五寸四分、

トシチ末届ニックヲ個例トシター催者ニ劉シ囃ヲ納キタルモノ開ノ節約ヲ闘ルコト。近参者ハ肝ス定居ニッキ、時

に減ず如く中央軍権が引退し、蓄量

東財閥と結んで西南の一隅に度の形態を馴取したのは、展

| 現身の解除は昨今

関の数点は弱く荒く、唯だ今

央兩廣の抗争

裏は特に湖南 江 川五郎と桐満館廿

富量左導立国を建てる西南原が、南江代間を青油とし中央が、南江代間を青油とし中央を完全に常述して一意を支続

胡は五月十二

の大事性である。然と略然行った、歳に民國内副史上明指 **幣順を決せんとする形勢となっての野に相見えて**

何から出露するものであるが故に

常然行き消く所に鍛冶したに

へれば実態の事他かに見るる

商歌り掛に抵抗した数年則否 とある。共産軍が江西航建に

石の野心の側には是非共除か

直接の接腕がないだけ西南の

他位は安固であった、然るに はそれが自ら経動地帯となり

へるのである。中央西岸の樹

んで事態一髪西爾は全支統一四川をその手中に取めるに及

に民して所要の時間にあはせます ずのに、極少しづつ後へ見すと 進んてめる時は一度に少し能分

たいで使べるものはありません どんな機能でも指除や油差しを

石年来の欧族世紀民け假令何賀刀族が妻命版に立てる蔣介。 官吏の中央に依る住地、

依る許可遵又は申請書の寫を添には建築申請の外に他の法令に

の確集物である場合に依て許可を受けな

道知事の許可を受くることを申請書に土地平面闘を派付し

さんとするとさは左の様式 建聚線の指定態史文は廃止

作に命じて次の無理難題を提 じての安閣交渉を一類し選ぎ 新は避來の玉爾惠、孫科を通 新は避來の玉爾惠、孫科を通 置略完了するや所は恐ち段節 國の陣形を完成した。軍事配 して兩版有類に集結しその 力解決の狭心を聞めるに至ら つての好機部來となり開盟で するに十分であつた、然るに その理論闘争は自ら將を敬認 老として全国の野鬼を搬ふる めた、所は密かに兵を移動 湖南江西に向つて進軍し今日 かを要求した最後通牒に過ぎ る處である、實は除伏か決職 何れの一項も西南派の対底容 を命じ既に兩魔軍十九萬人は 笛を観すると共に全軍に動員 然記事するに如かずと の危機を醸成したものである 結果学して自滅を持つより政 家仁、白紫禧等は連日協議の 一日州西南委員連名の反所通

樣式第三號

關係土地の境界、地名及地一

膣

遊路の幅員及侵さ

・ 西南欧秀製行用委員館 ・ ・ 西南欧秀製行用委員館

上り一歩進んだところです 口に時記といつても實に多くの ます、此の點が、能來の、

ひますがアメリカ我では『哉サイズ』を呼びます、大々の イス或が形ひられて居ます、スウイス式では『何聖』とい \$

触して気があくとがありますから

を動かすこと を完全に取り去らねばなりませんを完全に取り去らればなりません (イ) 時々ゼンマイを据いて権威

人力使へて下さい値子は坂や源宝」を油の中に入れて、即到解釈原に、つてしまひますと前の形で破片を取り去り、値子を一寸、甕に石部、種間・またはサラーをおきますと師とがありますから、すぐに時歌座」ルの中に徴してよく水分をとりま (ロー冷園の人とがありますから、すぐに時歌座」ルの中に徴してよく水分をとりま (ロー冷園の人と) | 窓の|| ちに蓋をあげ、海交け清水で銅線|| 関ガ不正廊になり調たしいのは銅像の|| ちに蓋をあげ、海交け清水で銅線|| 関ガ不正廊になり調たしいのは銅像の土が開まり、時間・水の中に排出を落した場合に (ロ) 憤鰯の入れてある壁に時計 かなくなることさへあります

て精緻でありますから、一寸した。足りない時は一変液保たないで止。當つたり、ボケットの中の時間が、健康所能や腕壁前は、健康が極め、側が不正徹になつたり、また様き。り、麒麟能をつけてある手が物に

を保つ上に大きな影響を及ぼすこ

時間に帰い動物を現へぬこと……

は、した場合のやうに全く軍がつかな 「です」

温度の急激な製化を興へぬ

洋服を脱ぐ時性や散居に當つたり

(イ) 韓子を健擬した厚……

の被片が文字職を個けたり依依の

ることがあります

- 起床の折また「衝動といつでも、たとへは膵能を」 したりすることがあります、強いしたりずることがあります、強い

たい値子や石または壁板などの上

此の基合は、時計店で磁気を取上 が不正確になることがあります、 対が磁気を帯びて来るため、時間 △ 磁氣を帯びた時…… 交は電話の受話器などに著ってのスピーカーヤビックア



日念記の時





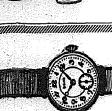
新型腕時計と

モダン置時計 賣出

石

時

大田本町通









新加納

城大文學會

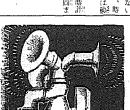


五)道路認定
右の杭の位置は警察署長の許し

に提出して許可を受く て右申請書には道路及前

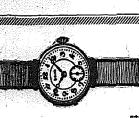












月八日ヨリ

時の記念に

全党金融他圏

修理半額

雪斯店

理

修





合

屬金貴計時城京

組 Ī 商

昭、配事試 | | 牧闘者を関けて來たがこの禮聲部 | 者の質闘に基いて元く郡間用土性 | 理化、産米増殖、敗良の徹底を抑

馁橋地先海面三百米埋立

五千噸級船の大繋船岸壁を築造

名實共に大吞吐港を完成

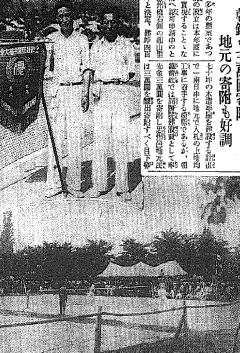
の港灣修築

が影響の關係で思ふやらになったら直地に解消する問題で

五千明殿の船町を織付けできる程。楽し(附四萬坪)大岸壁を築造し

度の開始に関となし鎌道引込織を

朝鐵も二萬圓寄附



幅氏を推し、者々振興策を配

る哲で同格院は悪て容別金によつ 五月新陣容を整へて組合長に古に大印】永い冬殿から離く髪め去 玄米車扱協議 遠げたが、従来申扱ひ立米が本線

利の脳が多いのでこの根本財策と

祭中であつた農南北國保書はこの一打合せ資で決定した駅常り自五行 |際のため内地の需要先各方面を親|動することしなった、なほ過度の

有志五、六名は永同瞬に特急を 時間政正期から資地するもの

山府職軍と府館職與連は製流の長山府職軍と府館職與連は製流の長 読よりもロが選者な連中ばかりで 形棋版を配頭山神社社務所で開始 唇は所能車が断然押へ、野供は花を配らした戦闘は左の通り、 処理に軍配が上つて午後七時散

新種の獎勵を說く

即も南鮮二〇、六〇の内観彩を

大邱の兩校

ることにしてゐる 圍碁と將棋 當局を信頼して成行靜觀

特急の停車

九坪二階登坂瓦造りの堂々たるも

の正に大吼一である、更に工程六 出ル子國で新築中の南山町町通学

十二名の中人學者三十四名、同十

西串普增級

光が切望されこ の知処館を結成 の知処館を結成 立百回のる附金 でことを決場した

3

淋染

上腺素 結2 核

忠北線三

月谷、五松各曽山墨

活きた教材を盛

狙ひどころは郷土の認識

釜山教育會で計

化するまでになっ

列して盛大な洛成

上、環所では去る四月では川事務所 し、保護工事中の図すでに、「部壁工 し、作業を始めたが更に農工財工裏 工手由の図すでに、「部壁工

11 と後野、 - 特別・特別・ - 台を財政・ 五日旭工し前時に機械・ - 台を財政・ 作業部等を新築することになり、

全鮮庭珠爭鞨戰忠清豫選

両州長、村組に凱歌

榮轉者に餞

頭を咬殺

世を明さ午後二時年の父兄曾を開催年の父兄曾を開催

加ル氏上月初旬になる、京

出席の人々

んたものらしく天際觀面、目下

逃げ場を失つた

持兇器强盗に天罰

じく、これに伴つて駐堡兒

至山1 最近都市に人口集中の

てゐる に扇員總出でラヂ 追のため研研執務 語を開す でを開す 安映湖會を開催から局友會保健部では に闘する研究會 2 7中 2 7年では、来る

不壞 松岡回生堂京城 山岸天佑堂京城 山岸天佑堂

衣裙

プド錠急性用





























智 八 八 六 京 東 替 編 (クフシイウケウト 競路

Æ

町 旭 府 饗

平

審九太九〇間 後二九九〇 後五八二〇 後八八〇〇

所張出

石

町塀練區器下市京東

+

振威の土性調査

振興に必要な條件

統制
ご指導
が第

技術よりは精神的に活く

般の熱も高めねば駄目

天日日新聞主催の鮮繭 ムペストコンデションで いざ鎌倉といふ際はオールタイ に川南深でも二年前 | 森氏 | 一生懸命に練習をやれば

簡易校昇格陳情 窓の野遊館を開く

の連署で陳神器を提出した の連署で陳神器を提出した 永同」上村面勿加里民は同里<u>此</u>

居昌面事務所

引列

しの程度工し一日午町十一時から 【居昌】 降て新築中の面事務所は

ものは四十五件の歴件、その中間停御管下の本年度小 語

新乡直 一旦 本 で しょう に ちゅんければなりません。 世 に 野 も た い 本 次 に 会 の た か た 合 校 要 の で 完全 さ 合 様 の き 信 か ら を う る も 之 か な 合 校 要 の 方 で ら る さ 之 か な 合 校 要 の 方 で ら さ ら さ と が 新 要 が ーカ バーカ バーカ ご しょう で い ま で か た 合 校 要 の 古 本 で ら で か ら さ で か ら と で しょう で しょう で い ま で で か ら と か ら と で

樂局縣店 戸有 ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ | □ | □ |

製所なカバーカバ薬化學研究所

倉庫の土棟式を撃央棧橋基部に起工組支店では一日午

小學校の概査成職をみれば體帯で「清津」この福體器機能なを終った 近視

清津小學校

見童に多い

眼

赤貧と聞ふ

歴史、本渚の地交、地形、地質(によると、蔵習の思想事作選生作) ◆緑籬 本遺植物調査研究及その 【展興】繁労局保安認からの通保。 ものである なほ植物語の豫定内容は左の如き

脚を留置き印刷費に補助する質数の六編組費に毎月補助する質数の六

●観の特色(成立分子、植物の+

交献の再録、引用支献

蟩業王國を背負

一人でこれ突全師第三位の数字を「としてむしろ必然とみられてゐる「西師は七日 **健生光性、**九百五十 労働事語の増加は

反面道

内

資配工

「

援風會及 ので鑑進途上に於ける過度的意象

太

き山里も 一意義あり

回島では日繭官民合同の配質式を 101 十日治外法院が壁に開す

行するが延吉の有志は去る八日 は内鮮嶺市民の城行列を行ふこ

語 定 受信 機 料 8 8

社會式株機電中山 場工門等 目丁二碳大市京東

アン・ラヂオ

新義州の

かほど終了したが観測は極めて良

校々庭で開催、冥村分館長以下館で認問は六日午後一時半から小學

本庭で明版、 冥村分館長以下館 | 対乱を興味深く網祭した | 佐郷山 | 佐郷山 | 宿郷の史郎を報 | 近郷が開後 | 万部・総曾 | 人分館支部の替 | 近郷が開後 | 一ノ海県 | 大部・総曾 | 人分館支部の替 | 近郷が開後 | 一ノ海県 | 大田郷 | 近郷が開後 | 一ノ海県 | 大田郷 | 近郷が開後 | 一ノ海県 | 大田郷 | 大田

PBRX(数付) ¥ 47.00 E定器對110459

十三日正午から公設グラウンドで(豫定を「目録上げ)

参加チー

郡廳、教員、專賣車遞友、刑務所、府廳、鐵道

权原

(7)

蒚

壁

城日

城 支

制度規則間島省地方 日補官民の盛んな見渡り裡に任 除隊兵に記念品

へ使

りませんりませんがら、少しも自然の数を概はしませんから、

洗滌をなさる必要もない鍵に近代人に 永年の神便用になつても超野に響な、

★ ゴム製品や従来の機関をより以上にた 置 「おんごごろで溶け、安全な関連と終常の ・ これた機能助機能性の美しい設備です。 ・ 立在作用を超しますから花物所操防に 対 適です

3

百字鏡人 五 圆 零日至鏡人 拾二十鏡人 蜜

新潮製藥

版辞里京书〇六 定語 京修 二六

CM 企 企 企 企 企 社 社

去る四日午期九時五十八分移列地であった長尾部隊及び宇野部隊は

商人を筆頭に教員、公職者もござる

安東の列車内摘發統計數

は 方部度規則の触定について最度的 節線率に発差酸出盤の上間脈、地 は去る三日午間十時から街公宮

兩部隊延吉出發

を皮切りに顕大掃立て平地三層、

江陵商業設立に

本田米市氏の俠氣

れの状態で提尾は天を仰いで眺息

たので極よ中央政府へ提出し裁可

咸南の春蠶

十二郡は一部の特殊地帯を除くは一【延吉】道殿來延告で政育訓碑中一たので認領九萬三千圓を実被した

騒音防止衛生施設の完備等 平壌で下工作開始

で、右部設が質励されると下馬は「神理者の出納機査を施行し、一定地に限られ非常に期別な街と「中度別・投稿者及び第一、で、右部設が質励されると下馬は「神理者の出納機査を施行した。」、一方衛生方面も汚物には別

江原道軟式

神宮茶黄全鮮軟式野球大會に参加【春川】江原道惟青協會では朝鮮

「羅南」羅南の徹長機査は四日午前 八時から歩兵七十六號隊で開始さ に附流はれ多数下車、羅角はこの 受協能工がそれぞれ兵事保護祭官 れた、同日午後の列車では管内の 羅南の檢査

級建聯祭即日雄基へ 西工官議所副會頭一行八名

方子士 日 七 日 七 日 七 日

大胆为船株式穿贴代理店近海或船株式穿贴代理店 **朝鮮阿船株式**會批代理店 朝鮮運送株式會計

羅南藥劑師會の義學

後のでは、10mmのでは

· 日本] 下津尚津町上水郡長は市

附と打合せのため五日復上版した 出格理励行に伴う言語というき本

掲別近とみられてある、さきに無

であるが煙草、砂糖之の他少量の

整者を入れると五百名を実施

「重」は内職規制に下温を持つ

「は魔鬼が歌祭拳く次は智有類の」九一番地に蝉風で猫を選ばすべく語のである。鬱噪融を温炉にす「芒松塘瓦製造師では全国高台地田

在日田日邑長館の際政は貨地制作

迷な地主のため 道では圓滿解決を望み

本人と直接交渉

(経統一萬五十四百面に本結の補助 (現紀が折合はず今後の折飾に吹た) もあるが、進では順序として先づ百面の内一美二子側は地元の寄材 | 景性須藤蝶の排地点(皮がについて) に難して | 気に敷用を繋誦する向百面の内一美二子側に地元の寄材 | 景性須藤蝶の排地点(皮がについて) に難して | 気に敷用を繋誦する向百面の内 | 美工作 | 大半が順調に買貼に膨じたが維建。るという場方をするものも出で道所に立て原発に訳上。地一町三皮が加ませるもがに立め、のโ記説に対して娯楽するものであ に使つことになってをり、地元か はち同野地は雄匹正新原頭側の高

江原道心旱魃

植付は十日も遅れ

しかもほんの一部

ねばならぬ事態にある。尤も須藤 にけなけ若行の期を見越されてる一 意向で、像家の門刀に觸れるまで る、何れにせよ同地。一族所はから

まつてゐるがそれも水利組合區域 【春川】江殿道內本年の水稻植付「れてゐる

江陵も水不足

進步の跡著し

ごとなる

目指すは寧越と月精寺

撤いてあるので知事さん同ふと

こるた話の木の葉の辞肥が着中に

善されてゐることなど一目で著れてゐること、苗が薄橋まに敢

目の廻はる日程

配州から平島に向ふ高い峠を越え 今年から採取を許した』とのこと 山さへ、荒らさなければよいので こゐるのが見える、京签新織の測

散兵檢查

ける館兵機会は十一日小學校で記した。【進基】第十九節繁音下雄悲にお

初移出

産業等 001400 1400

一番所御申込は代理后又は本社へ!)

致しません、前金御注文本註質指本衛は本社が専要所以外には販賣

專賣所募集

*

城

本

Mſ

井

딞

部

代理店

咸

雞

南

町 八 九 八 九

☆店

村本

話

Ŀ 番店

中北

代理店

京

府

御 中 府

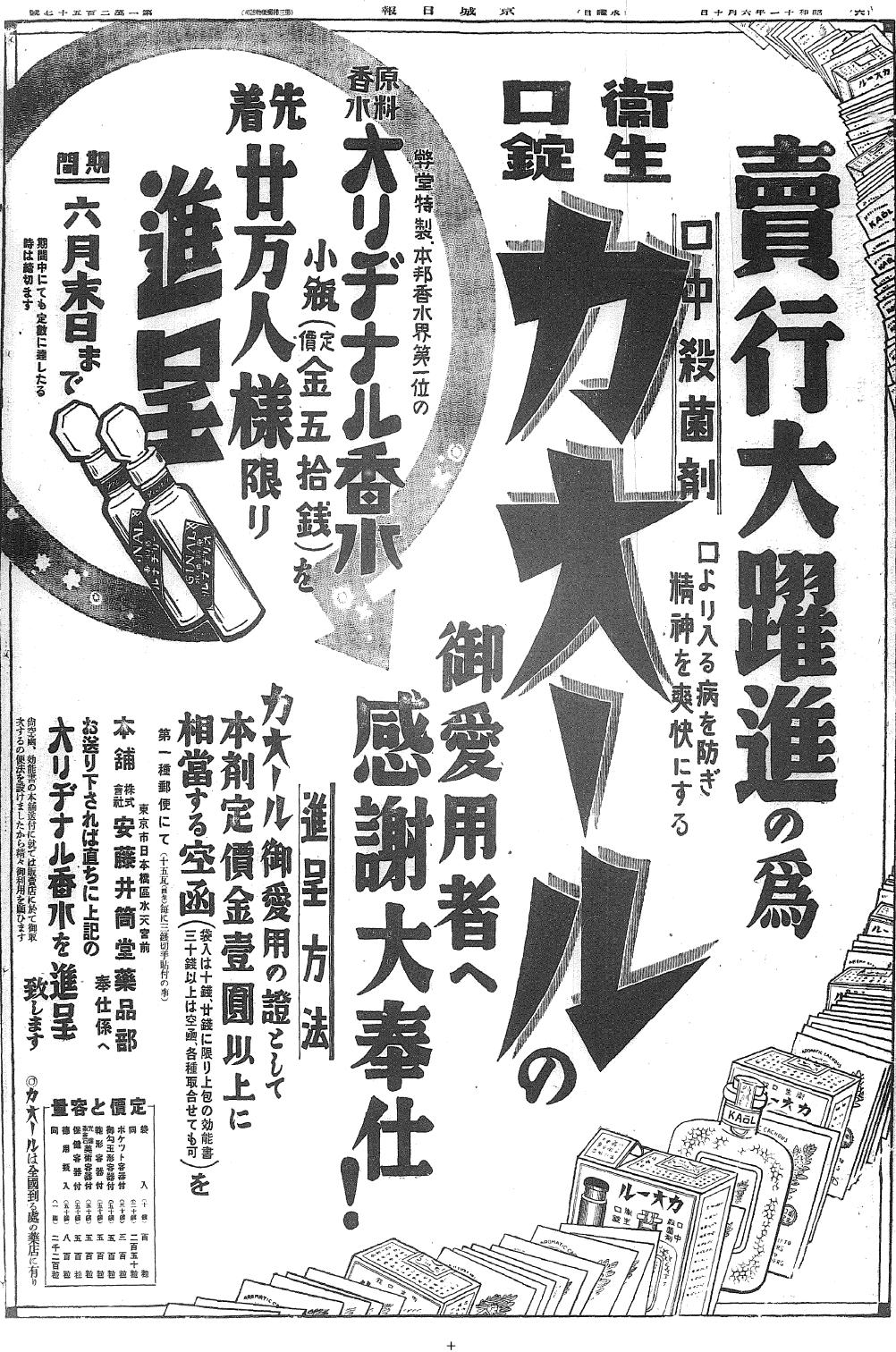
MJ,

0

和城

田成

クリンカー



■ (上石) 吉崗君 (間左) 沖田ヘッド・コーテを ・ の丸をボイと放つた高田君

本府農林局長室

長尾半平翁卒倒す

きのふ午後矢島局長と會談中に腦溢血

目下そのなゝ安靜療養中

近り込むや第一番に降り立つ

吹を先頭にデッキから酸々姿を

燃える岩き意気

京城に感激の夜を送る **驛頭に見る忘られ**

人城、蘇頭には ・登三時十分京城縣者臨時列略。 (既い吉陽君は尻から二、三番と、 ・13

中生のアーチと離が待ち受け八百 な接要がかはされる、瞬頭には龍

習練猛の後最で國故

とすが精鋭部隊

きのふ京城運動場に練習會

のスイング「首、上半身、足、ひね」

は二千七百九二頭で、これが費上 足城府区は場の五月中の入場面数

宿武 夫殿 《清明》 大声明经全羅北道金堤邻美容驛明

助

連動場は繁昌

五個四十銭中二百四十個を続ひ学

一點的を受けた

目首す

試展飛行を終つて何遭りにからつ り避してゐたものである

の鮮伊樫・林楽 訳長を 交へて曹 |に當つた、一方長尾歌の急病を開 | で、七十二酸の高齢器としては無

矢島農林局長の機敏な處置

て友人今井田政務總監も九日午一理な旅行で、これが脱敗してゐる

二日間は局長室で靜養

日午町土井一場門の入城したもの一つらることになった

廿日頃に來る

||坂士などの如人も見舞つた、長尾||飛病と同時に東京の自戦へ電報、 後六時から同七時まで構成を見舞と見られてある、翁の正親者は原

た、安井京議道知事、稻葉文字

名を別飛ばしたが一名は臓機器を **管理状態で身元不明、一名は**

の見込で京城支所器器操縦士以下 は、て作師を進めてある。一方蘭 ○ 在機二國所有トラック京五一五 かけて京城大聖及び皇科の山原部師に淑文して製作中であったグラ 五製の助手安仲光(**こ)で、常月池」と京城領科管城山最都及び文藝部師に淑文して製作中であったグラ 五製の助手安仲光(**こ)で、常月池」と京城領科管城山最都及び文藝部では、「本社・一般はおらべ日宝城大聖及び皇科の山原部では、「本社・一般におらべ日宝城大聖及び皇科の山原部では、「本社・一般によって「大規・一般によって「大社・一般になっている」」」では、「大社・一般になっている」」」では、大社・一般になっている。 町二ノ六九申相義(デ)を練設し述

明、直に醫師の手営を受けたが經尉安課を娶するので除附屬領にベクトをとり、目下手當中である、中四分京城省で再び來域周日午黄四勝五十分的本府監練 局長能で 安慰局長 と翻談中突頭緊鈍能で能明東京の直接協議 と翻談中突頭緊鈍能で能明東京の直接協議 と翻談中突頭緊鈍能で能力

| 回高版研究とキャンプの音を足場 | 月十二日に先起版が出て準備をし 夏山の處女地を 完明

魚水山に主力を置くもので現林、

けふは『時の記念日』で京城府で一第二版送でそれら、『時の記念日』まで時の記念日のボスダー展整論

の語の語がまする。など明確する

尿城をあげて大宣傳

拂つてくれ

を また大阪西城町を渡る形を 単に 関に信仰の物質ではたびつくりさ こ 関に信仰のではたびつくりさ こ

職迫」▲電楽撃氏(忠北道)▲

時』と生活改善に

走が出来ない場合は狼が山から一 三班に分けて脱箔する挑説である。一部でも、極短深集、地質、緊ਆの が服拠自殺を企てたもので九日午 れてゐるのを認起し手當を加へたことのは八日午後四時候雜記に倒

間に重れて顕含したのを看護婦長 朝鮮にも追手

經益

最新式出納法の効果の裏書

纯

益

從來の出納法の結果

出し説識することになった

てゐながら依然支機はぬとい

小賣商店・百貨店には

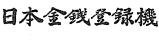
銀行・會社・工場・の會計ミ能率の増進に

ナショナル會計機

---是非御研究を乞ふ---

日本ナシヨナル金銭登錄機販賣株式會社 本社 東京市京福區銀座三丁目二番地 京 観 府 本 町二丁目九〇番ノー

紀金ツ瑁加と程質的域 には先づ出納法の改善!!





用話本院交兴命七番

アサビス保募集サービス保募集

윘 羍

東京 生 総志平岡なる青年記 大変義のれ市内に帰頭人を受す 京城府弘清町 京 映 牧 郷 市 京城府弘清町 京 映 牧 郷

便士]となく題りながら、一つもスピー

動場で練習午後等時半脳氏館の数は年期十時半から正午まで京城連

主犯を捜査

けふも練習

誠心天に通す

心の治験圏の他目下平脳署で取)を競場調べた結果、一味

大工さんの実験書はこれです!

尋ねる子供發見

行商までした貞女

四五八井宏伽さんは昭和三年十二

人を騒がせてゐる、京城敦物町

貸

京日案内

花柳病專門

眅

零した

ぼんやりして、狭隘へ立ちつくし

の過りの題を掘ひ、ネクタイにも

通譯 深淵與大使船三雲秘書官 和 曉 嵐

位 張 叛 鄉

同七時二〇分

外務大臣 有田 八郎 日頭交換政迄(東)挨拶 七時二〇分 治外法權撤廢記念

群 同七時三〇分 主 乘務좾 (四)

同六時三〇分 兄童劇 金 興

同三時一五分 婦人の時間

同六時新日本音樂

心田開發器臣

方へのニュース(朝鮮歌、後山) 方へのニュース(朝鮮歌、後山)

『……』 変子は、中村の手を幅く

活かせ 釜山府尹 土屋 一話かせ 釜山府尹 土屋 に就て京城府尹河七時四〇分の諸濱

十日の番組

〇分(東)英語講照

朝鮮婦人の過 豕庭における

去及び現在

(東)ラヂオ膌操 水曜日 放

送



何か、異様な陰鷺が身龍中 | つたりしてゐる中村が一寸惟く、 中村の開覧の中に催り抱 一年の高い新らしい配では

特於問各七時間

をはいるので、 を成さいし、又の四角に、 を成さいし、又の四角に、 を成当したいし、又の四角に、 を成当したいし、又の四角に、 を成当したいし、又の四角に、 を成当したいし、又の四角に、 を成当したいし、 ではありもしないし、 ではなって必る。 がら見れば、 をはないし、 ではなって必ずとなっている。 のがはなっている。 がら見れば、 をはないし、 ではなっている。 のがは、 ではなっている。 ではなっといる。 ではないる。 ではない。 ではないない。 ではない。 ではない。 ではない。 金易二郎

弱者 京山 天風 記述節 死の先

〇時三〇分(東)婦人講座 特一五分 氣象通報 料理献 時一〇分 氣象通報 (釜山)

家庭に於ける街路代の朝鮮婦 儒教の女性觀及其の教育法

7. 學六時

東)家庭メニ

薬酸甲雷時に於ける內地婦人の、放子時組組順氏が亡命中、日日は次に處ぐる

集こえら手長の大河を輝するも機盛庸々夜河を過る

題不渝旅蝦被山鍋

一 照鮮婦人の過去及現在同二時 家庭講座 家庭講座 家庭に於ける同零時四〇分 ニューァ 一、九月十日 二、出郷作

大岭 (第三日) り始の物 計…時

は何極の家にも時計

とが話をしてゐる、ちゃうど娘の

洲國治外法權無撤廢 調印記念日滿交換放送 外班大臣 有田八

海洲國大使館二等秘書

漏れ載の世界のやうに頭

痛を解消する

製

元賣發造製

寺圓高區並杉市京東 **所究研藥製大六**

| 〇時三〇分(東)家庭諸色| | 石紐(四) | 服部 如質 | 田二時一分(京)朝の修養 | 大 演 午後七時四十分

十一日きく物へ

河 龍 男 引 () 清元壽美太夫外 曲 東塞 (古寺) 清元壽美太夫外 曲 東塞 (古寺) 清元壽美太夫外

(頃) (長)

间雕明

不日は「時の記念日」に常りまし

順流行の捲かないで動く電気時計 敗る殿様が自分のお

の、、景は過となり描へいざく、水 る場よりも此識の、甚を違ふ似慮

柳の葉かげの時計量の時計 ボン チン ゴン キン カン

時の記念日に就て

ぎて岩間の溜き、水は栗となる

絶えずも老を継ぶゆるに、

威と皇祖皇宗の徳、禮りてこ

多度の山、荷い道楽の杖とめて

歴典起したいと存する次第であります

御大典あふぎ見る、六千餘萬

上、天皇に即きたまふ、此の是日とて、養きみやこの霊の 御神の大君は、今日を生日の 生れ来しさへ嬉しきに、現つ >に三千年や御薗の光りて は、天の下に光宅り、皇天の 恢弘べ、大正の御代の御程威

分十時八夜

赿 大阪放送合唱團 岡鶴

時はかるうつはは間にありながら て、 猫唱

方は一方大道配をいかにすべきか一・・二人は話の中に醉つてくる、 答問樵漁 分五時九夜 杵屋和吉外) 芳村伊四郎

てある、息子は複説について父認一思ひ出す、

一類は初めて月薫販賣といふ言葉を

左衛門 第二篇

京超特作である

中国出版。 中国出版。 中国出版。 中国的一种。 中国的一种。

新華大师 本 大师 本 大师 本 市 十

外

日 清津三日 元山三日 学 日元山 日 完古是一清水 京城市大門通り五)
「京城市大門通り五)」
「京城市大門五十十年 「東京城市大学社」
「東京城市大学社」

國際運輸支店 仁川汽船幅廣告 嶋谷汽船株式會社 曾市曹島明石町

声音 元山云目 四一地多一瞬门—

- 鄭鶴- 富一 墳 湖 三日 仁川 三日

翌日仁川一日

山云百 水浦云日

山晋 木和吉

| 一种戶流港 坐置 元山芸日 学七日 元山二日

適

應症

計

日木組

Ħ